



IT Automation

ホストグループ管理・
メニュー作成
【座学】

※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」として記載します。



目次

1.はじめに

[1.1 本書について](#)

2. ホストグループ管理

[2.1 メニュー概要](#)

[2.2 ホストグループ管理とは](#)

[2.3 ホストグループの親子関係](#)

[2.4 パラメータの継承](#)

[2.5 ホストグループの利用例](#)

3. メニュー作成機能

[3.1 メニュー概要](#)

[3.2 メニューの構造](#)

[3.3 パラメータシート](#)

[3.4 データシート](#)

[3.5 メニュー作成の流れ](#)

[3.6 既存メニューの編集](#)

[3.6.1 既存メニューの編集：編集](#)

[3.6.2 既存メニューの編集：初期化](#)

[3.6.3 既存メニューの編集：流用新規](#)

[3.6.4 既存メニューの編集：メニュー作成履歴](#)

[3.7 ホストグループ利用とメニュー グループ](#)

[3.8 パラメータシートのメニュー グループ](#)

[3.9 「入力用」「参照用」メニュー グループの活用](#)

[3.9.1 「参照用」メニュー グループ](#)

[3.9.2 「参照用」メニュー グループの利用例](#)

[3.10 ホストグループ利用](#)

[3.10.1 ホストグループ利用した場合のパラメータシートの分割](#)

[3.11 項目の登録](#)

[3.11.1 入力方式：文字列](#)

[3.11.2 入力方式：プルダウン選択](#)

[3.11.3 入力方式：パスワード](#)

[3.11.4 入力方式：ファイルアップロード](#)

[3.11.5 入力方式：リンク](#)

[3.11.6 入力方式：パラメータシート参照](#)

1. はじめに



1.1 本書について

- 本書はExastro IT Automationの概要説明、機能紹介を目的としております。
- 本書では、「**ホストグループ管理**」「**メニュー作成**」について解説しています。
- **実習編**ではITA画面を用いて解説していますので合わせてご覧ください。
- [「ホストグループ管理」利用手順マニュアル](#)、[「メニュー作成」利用手順マニュアル](#)では各機能についてより詳細な仕様を掲載しています。



2. ホストグループ管理



2.1 メニュー概要

● 「ホストグループ管理」メニュー グループの主なメニュー



①ホストグループ一覧

ホストグループ登録・参照をする。

履歴	複製	更新	廃止	ホストグループID	ホストグループ名	優先順位(大きい方が強い)	アクセス権		備考	最終更新日時	最終更新者
							アクセス許可ロール	アカウント			
履歴	複製	更新	廃止	1	グループA	10				2021/03/23 15:10:22	システム管理者
履歴	複製	更新	廃止	2	グループB	11				2021/03/23 15:10:55	システム管理者
履歴	複製	更新	廃止	3	グループC	12				2021/03/23 15:11:26	システム管理者

②ホストグループ親子紐付

ホストグループの親子紐付をする。

履歴	複製	更新	廃止	項目	ループアラーム	ホストグループ	アクセス権		備考	最終更新日時	最終更新者
							親	子	アクセス許可ロール		
履歴	複製	更新	廃止	1		グループA	グループB			2021/03/23 15:12:46	システム管理者
履歴	複製	更新	廃止	2		グループA	グループC			2021/03/23 15:13:05	システム管理者
履歴	複製	更新	廃止	3		グループC	グループD			2021/03/23 15:14:16	システム管理者

③ホスト紐付管理

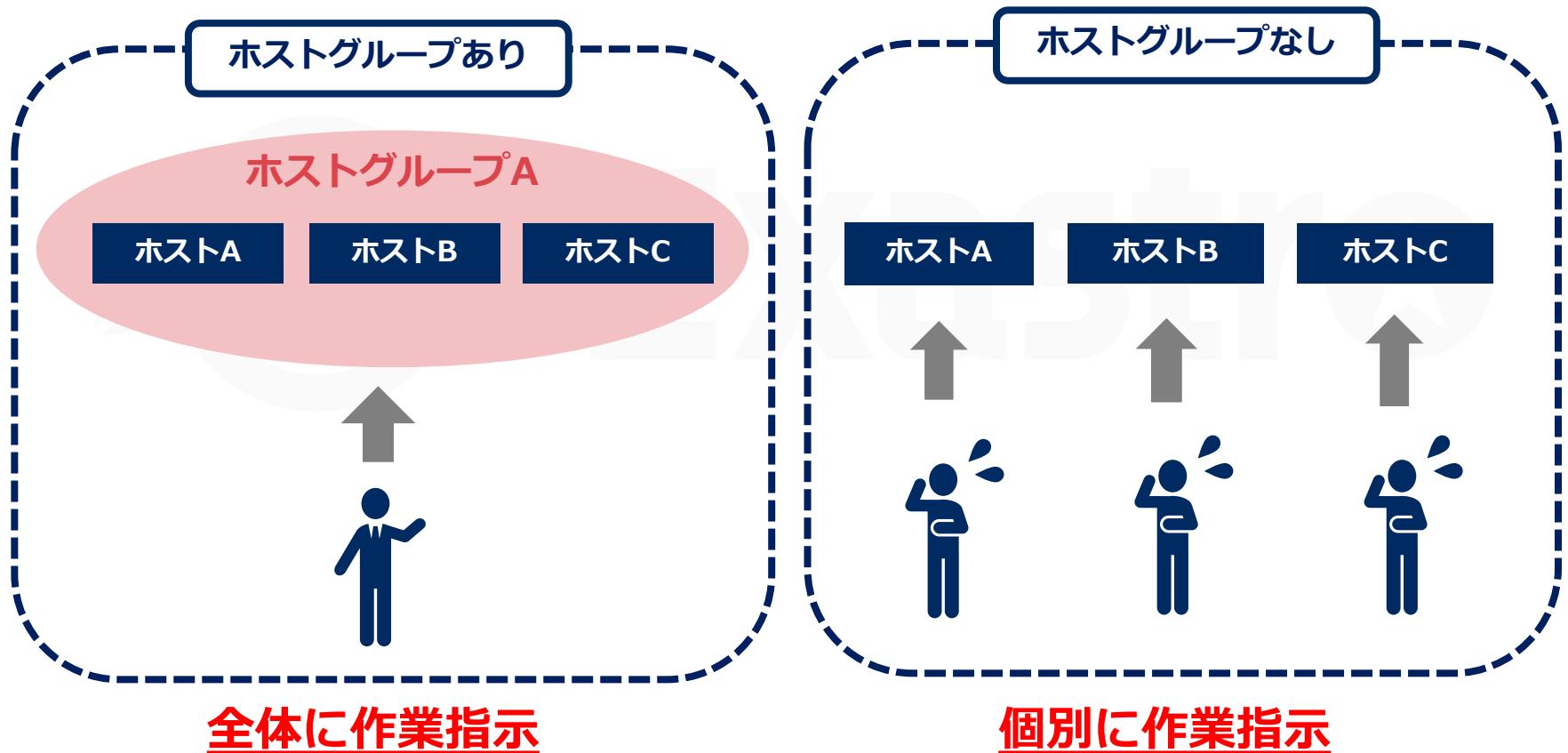
ホストグループ名・オペレーション・ホストの紐付をする。

履歴	複製	更新	廃止	項目	ホストグループ名	オペレーション	ホスト名	アクセス		最終更新日時	最終更新者
								アカウント	アクセス		
履歴	複製	更新	廃止	1	グループA	2021/03/23 15:15_1:OPERATION_1	sample-exastro.com			2021/03/23 15:25:23	システム管理者
履歴	複製	更新	廃止	2	グループB	2021/03/23 15:15_1:OPERATION_1	sample-exastro.com			2021/05/11 16:06:01	システム管理者
履歴	複製	更新	廃止	3	グループD	2021/03/23 15:15_2:OPERATION_2	sample-exastro.com			2021/03/23 15:25:55	システム管理者

※ ①②③以外のメニューについては[Exastro-ITA 利用手順マニュアル ホストグループ機能](#)を参照してください。

2.2 ホストグループ管理とは

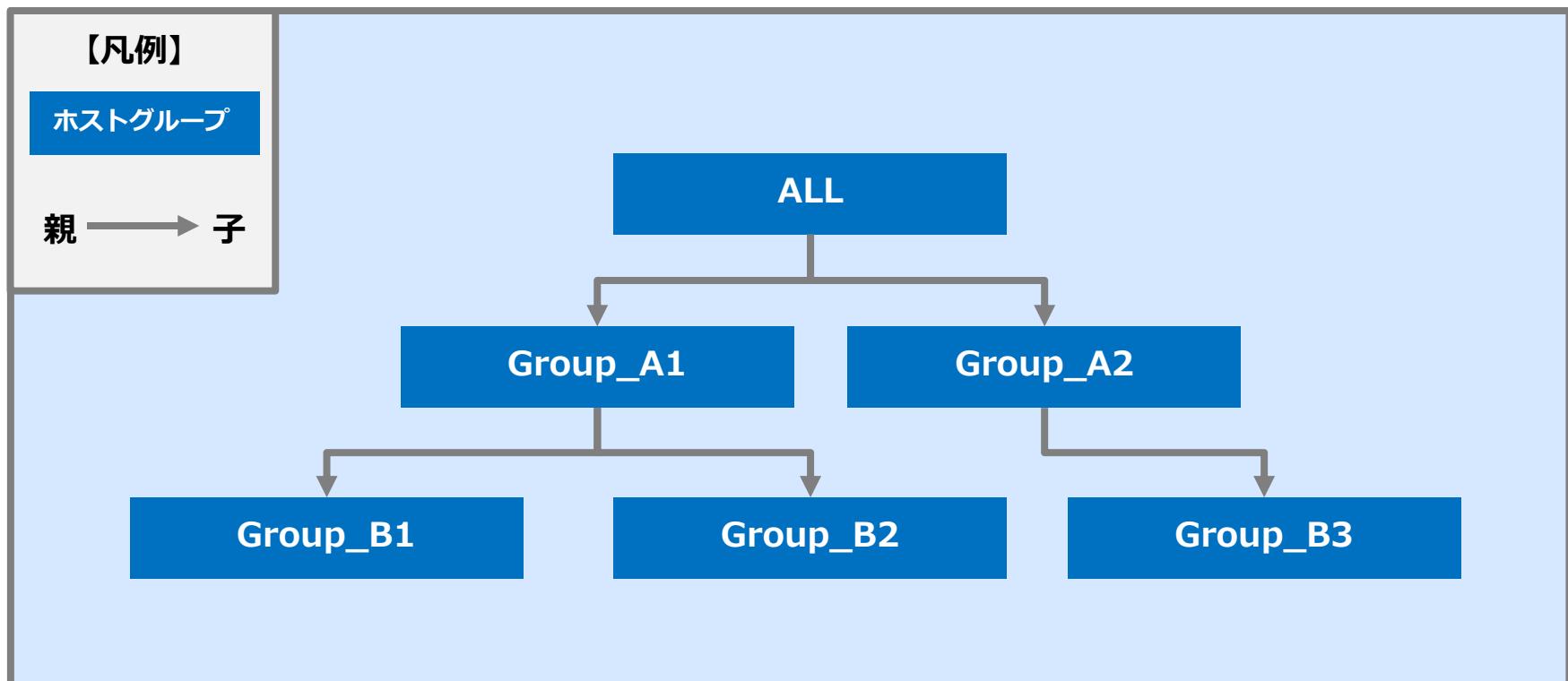
ホストグループ管理機能を使用すると、グルーピングしたホストに対してまとめて作業指示を出すことが可能です。
多数のホストを管理する大規模システムには必須の機能です。



2.3 ホストグループの親子関係

ホストグループ間で親子関係を定義することが可能です。
親子関係を定義すると、**パラメータを継承**できるためホスト管理が容易になります。(→次ページ「パラメータの継承」へ)

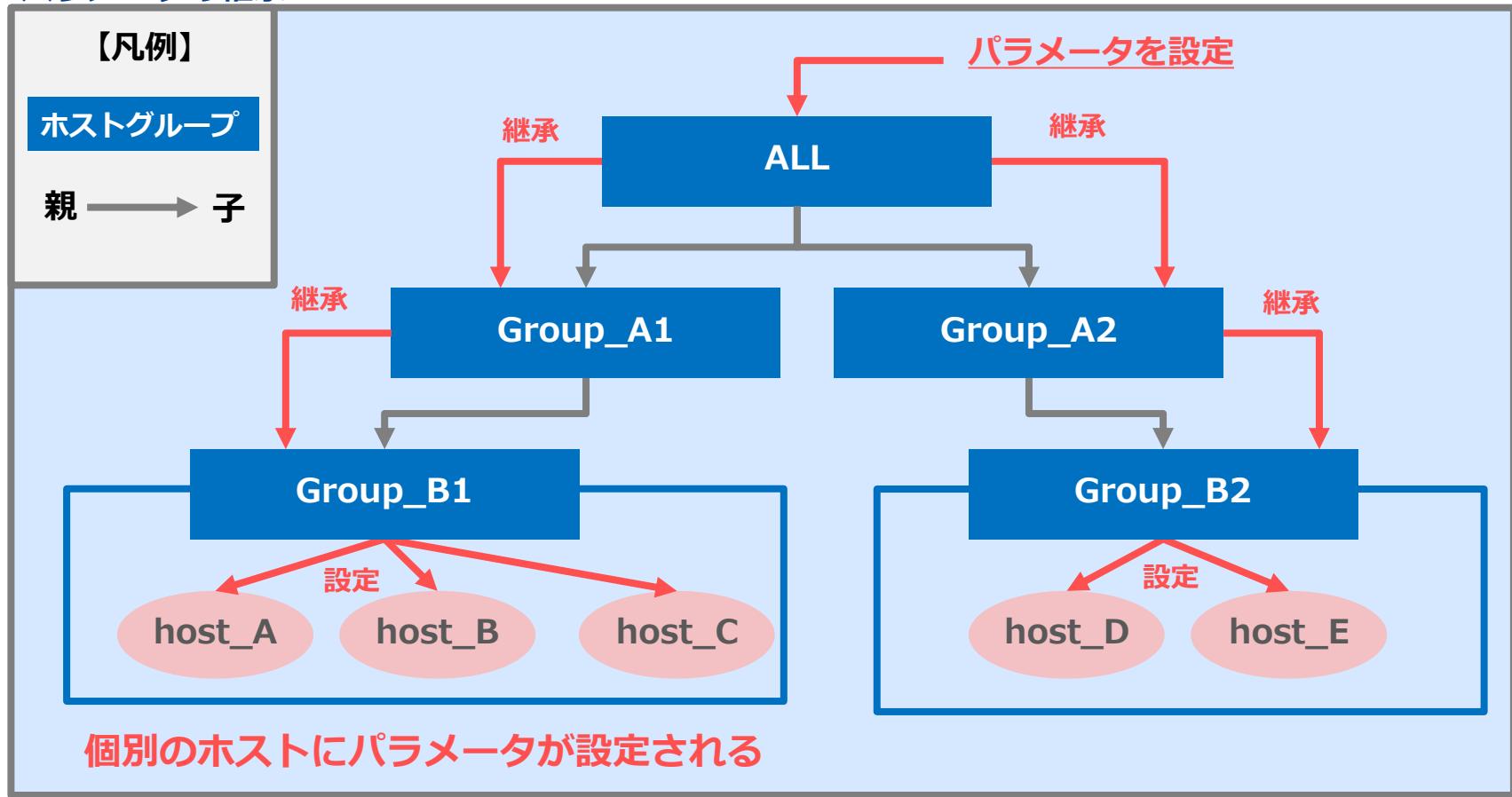
ホストグループの親子関係



2.4 パラメータの継承

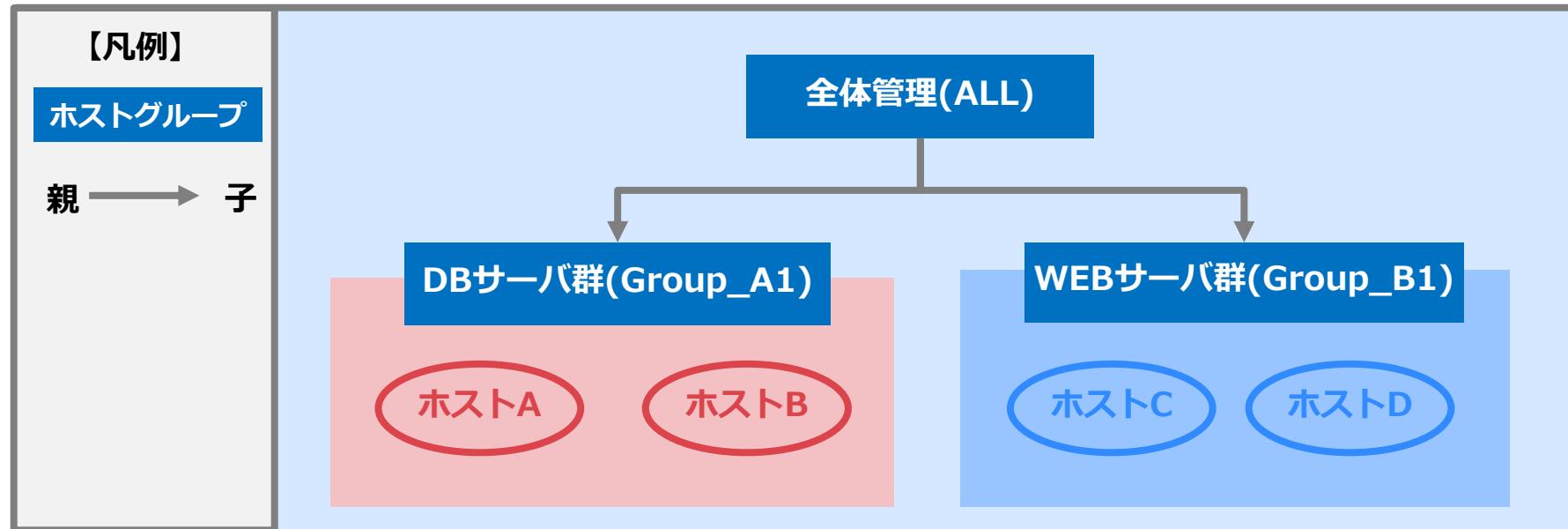
親から子へパラメータが継承することでホストグループ間で密に連携できます。結果として大規模システムへの対応が可能です。

パラメータの継承



2.5 ホストグループの利用例 (1/4)

- ホストグループ「全体管理」、「DBサーバ群」、「WEBサーバ群」があり、親子関係が定義されています。現在、ホストA～Dのパラメータには**値が設定されていません**。

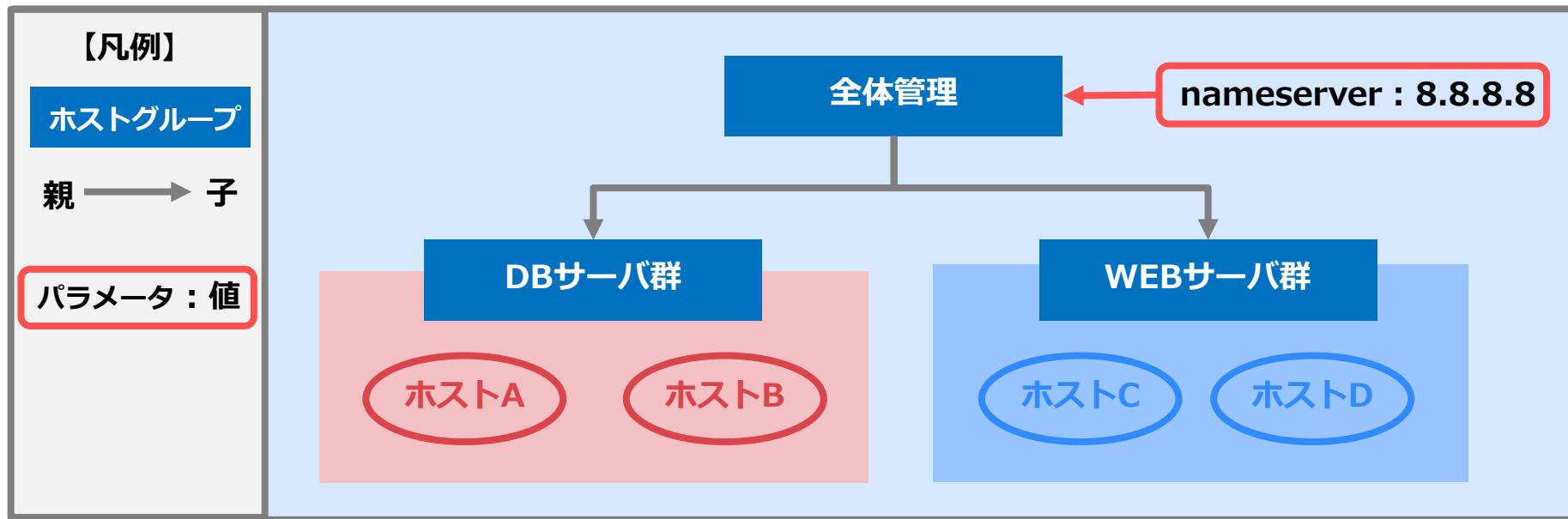


【各ホストのパラメータ】

ホスト	hostname	nameserver	password	server-admin
ホストA	-	-	-	-
ホストB	-	-	-	-
ホストC	-	-	-	-
ホストD	-	-	-	-

2.5 ホストグループの利用例 (2/4)

- ホストグループ「**全体管理**」に対してパラメータを設定します。

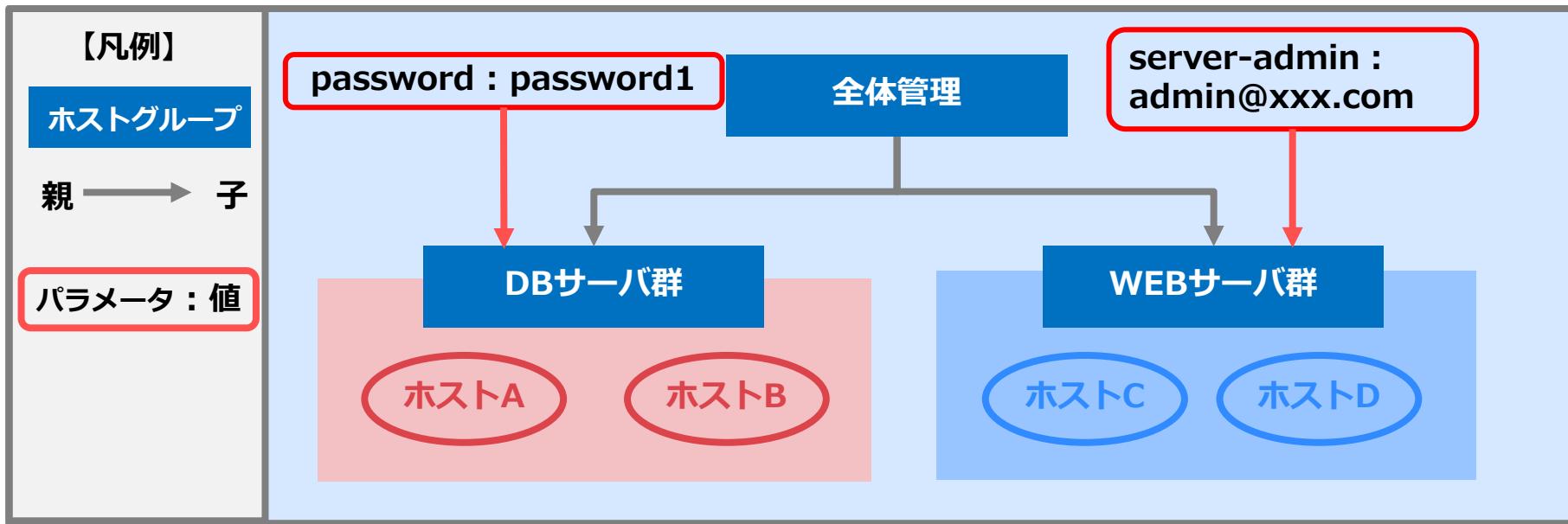


【各ホストのパラメータ】

ホスト	hostname	nameserver	password	server-admin
ホストA	-	8.8.8.8	-	-
ホストB	-	8.8.8.8	-	-
ホストC	-	8.8.8.8	-	-
ホストD	-	8.8.8.8	-	-

2.5 ホストグループの利用例 (3/4)

- ホストグループ「DBサーバ群」「WEBサーバ群」に対してそれぞれパラメータを設定します。

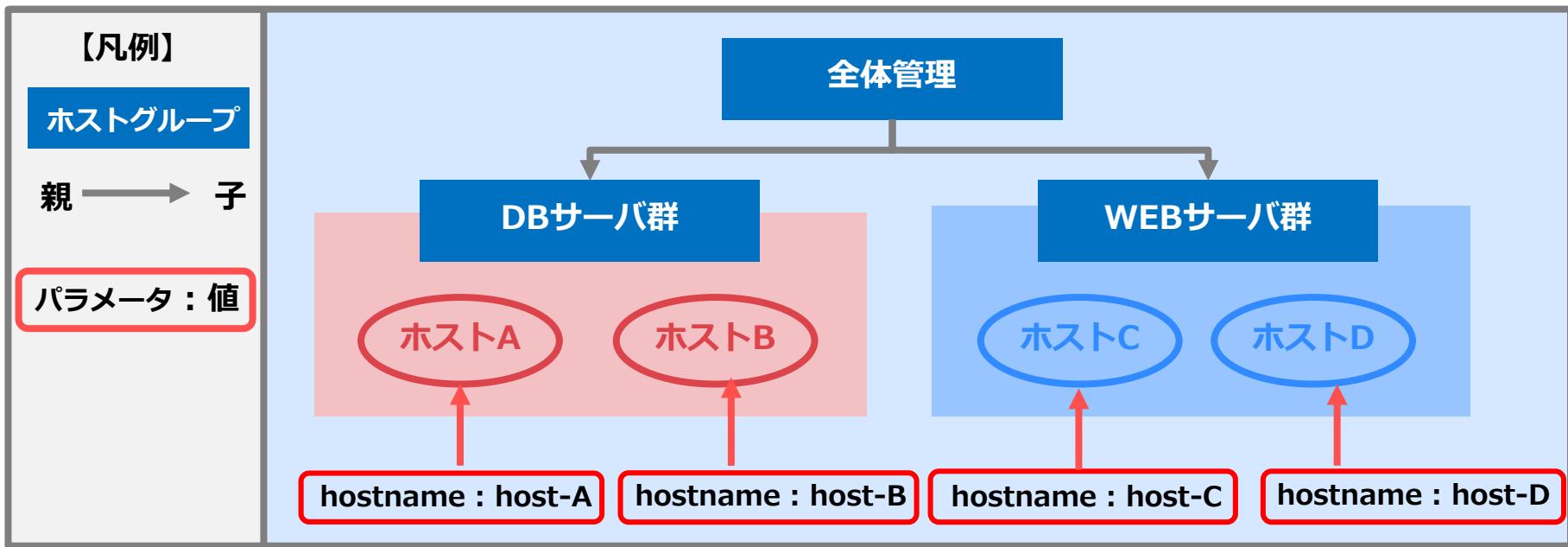


【各ホストのパラメータ】

ホスト	hostname	nameserver	password	server-admin
ホストA	-	8.8.8.8	password1	-
ホストB	-	8.8.8.8	password1	-
ホストC	-	8.8.8.8	-	admin@xxx.com
ホストD	-	8.8.8.8	-	admin@xxx.com

2.5 ホストグループの利用例 (4/4)

- 各ホストに対して個別にパラメータを設定します。



【各ホストのパラメータ】

ホスト	hostname	nameserver	password	server-admin
ホストA	host-A	8.8.8.8	password1	-
ホストB	host-B	8.8.8.8	password1	-
ホストC	host-C	8.8.8.8	-	admin@xxx.com
ホストD	host-D	8.8.8.8	-	admin@xxx.com

3. メニュー作成機能



3.1 メニュー概要

● 「メニュー作成」メニュー群の主なメニュー



①メニュー定義/作成

メニューの詳細や項目を作成する。

メニュー作成情報

基本情報
項目名: 自動入力
メニュー名*: パラメータシート (ホスト/オペレーション)
作成対象: パラメータシート (ホスト/オペレーション)
表示順序*: 1
ホストグループ利用: 利用する
経メニュー利用: 利用する
最終更新日時: 自動入力
最終更新者: 自動入力

対象メニュー群
入力用*: 入力用
代入値自動登録用
参照用*: 参照用
対象メニュー群を選択

一覧別(複数項目)
パターン:
一覧別(複数項目)を選択

②メニュー定義一覧

作成済みメニューを参照する。

履歴	項目名	メニュー名	メニュー定義・作成	作成対象	表示順序	用途	最終更新日時	最終更新者
履歴	48	sample_menu_14	メニュー定義・作成	パラメータシート (ホスト/オペレーションあり)	301	ホスト用	2021/06/01 16:28:20	システム管理者

③メニュー作成履歴

メニューの作成履歴を参照する。

履歴	項目名	メニュー名	ステータス	メニュー資材	メニュー作成タイプ	作成したメニュー	アクセス権	備考	最終更新日時	最終更新者
履歴	41	sample_menu_15	完了	0000000080.zip	新規作成	作成したメニュー	アクセス許可ロール		2021/06/02 12:46:34	メニュー作成機能

3.2 メニューの構造

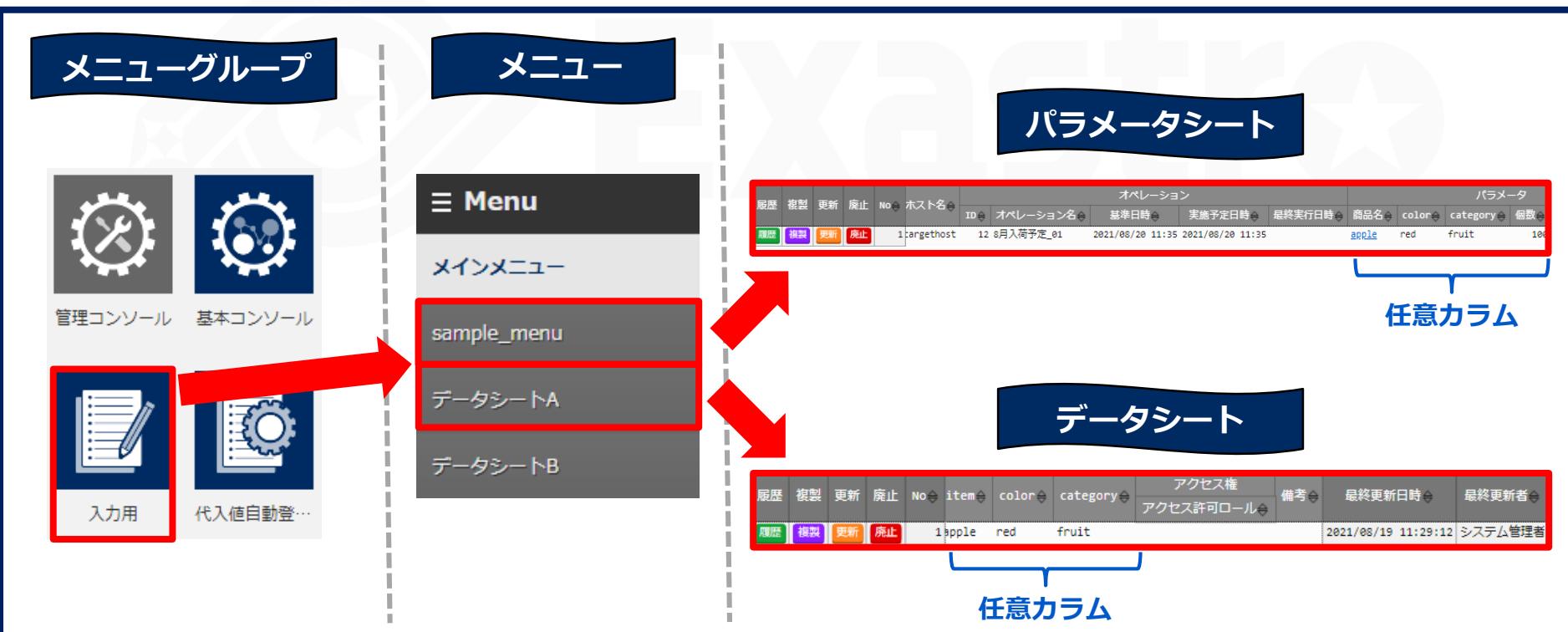
- メニュー作成機能で作成できるメニューは、以下のような構成です。

メニュー グループ > メニュー > パラメータシート / データシート

- 作成できるメニューのシートは下記の2種類が選択可能です。

- IaCの変数値を管理する → パラメータシート
- 特定のホスト・オペレーションに紐付かない → データシート

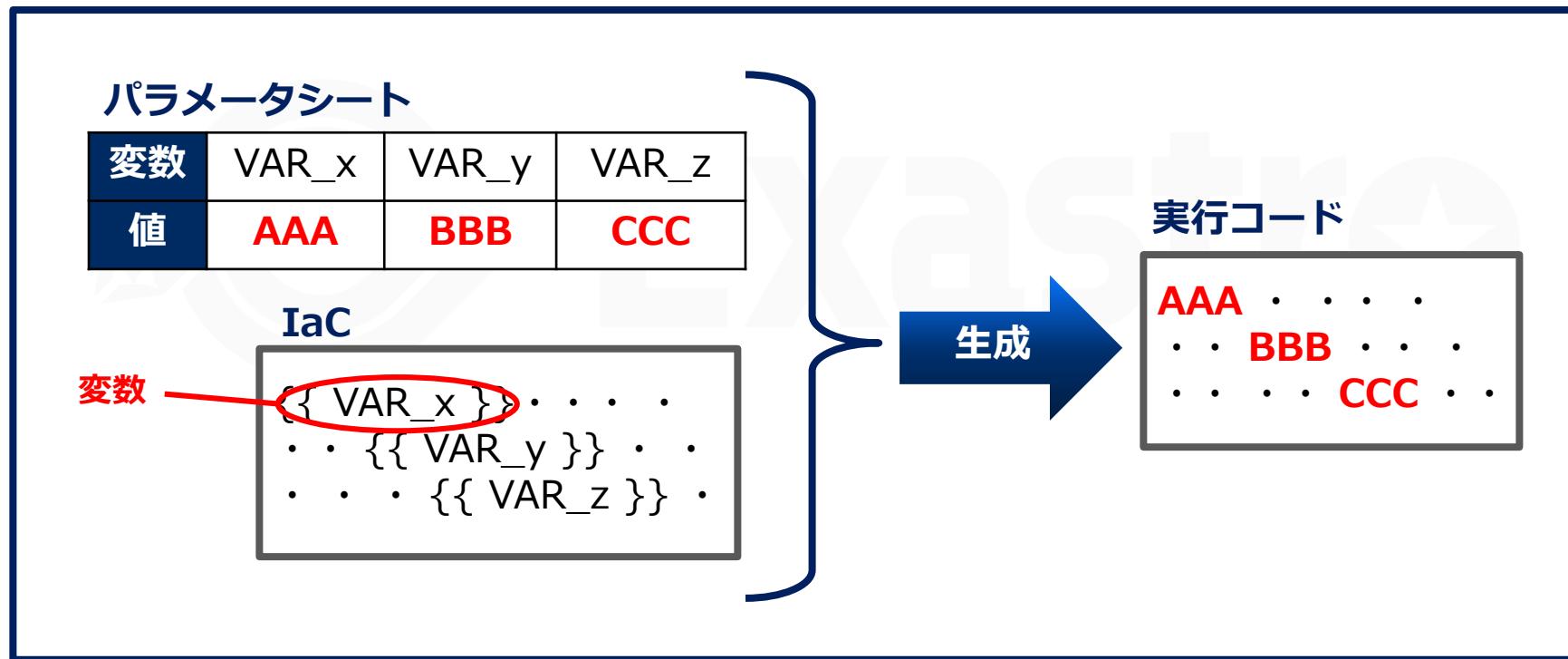
メニューの構成 (※) メニューグループ、メニューはサンプルです



3.3 パラメータシート

パラメータシートではIaCで使用する**変数**の代入値を登録・管理します。
パラメータシートとIaCから実行コードを生成します。

実行コードの生成イメージ



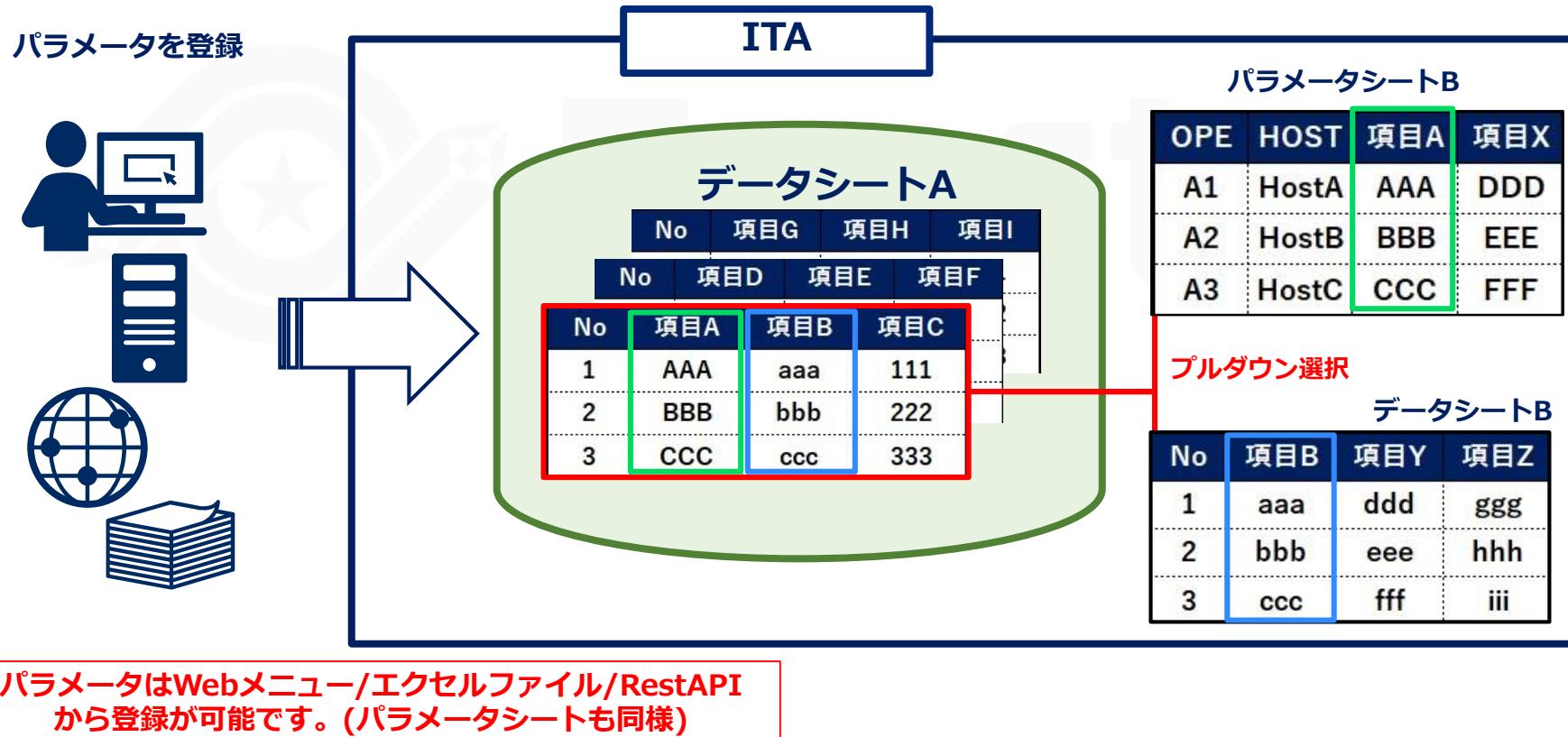
(※)変数の紐づけ方法は「実習編」をご覧ください。

3.4 データシート

データシートはCMDB(構成管理データベース)としてデータを管理します。

- 下図では、入力方式を「プルダウン選択」(詳細は本書『3.1 2.1 入力方式：プルダウン選択』参照)にすることでデータシートAが他シートと連携する例を示しています。

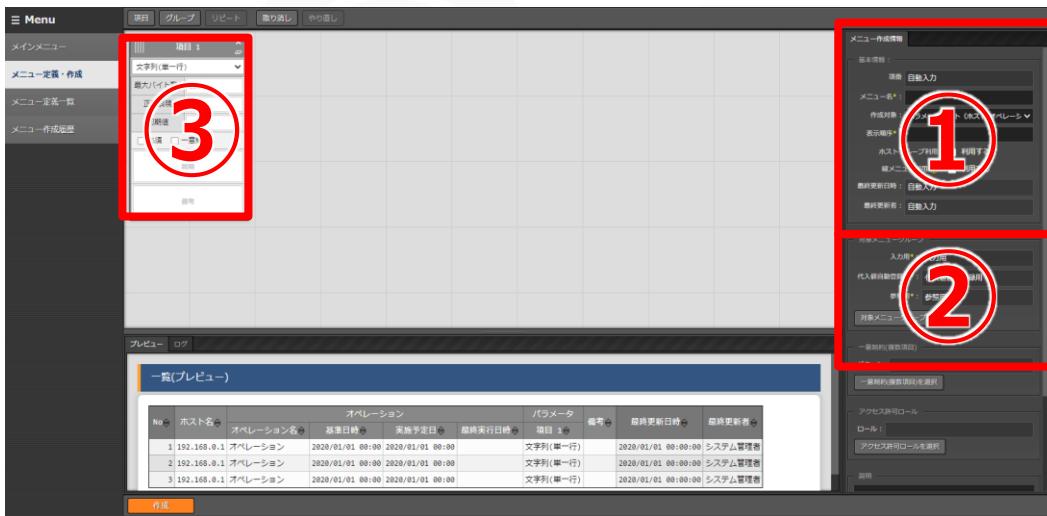
データシートの運用



3.5 メニュー作成の流れ

- メニュー作成の流れを以下に示しています。
- 本スライドをご覧になった後に**実習編**で実際に操作していただくことをおすすめしています。

メニュー定義/作成画面



① メニューの基本情報を入力

- 「作成対象」から「パラメータシート」または「データシート」を選択。
- ホストグループを利用する場合は「ホストグループ利用」にチェックを入れる（詳細は本書『3.7 ホストグループ利用とメニューングループ』参照）。
- 「縦メニュー利用」については[Exastro-ITA 利用手順マニュアル メニュー作成機能の『4 メニュー（パラメータシート/データシート）説明』](#)参照。

② 所属するメニューングループを選択

- デフォルトでは「入力用」「代入値自動登録用」「参照用」メニューングループの中にメニューが作成されます。
- 自分でメニューングループを作成することもできます（詳細は実習編を参照）。

③ シートの項目を作成

- 詳細は本書『3.11 項目の登録』参照。

3.6 既存メニューの編集

- 既存メニューの閲覧画面下部の4つのボタンから、メニューの編集などの各種操作を行うことができます。
- 閲覧画面は「メニュー定義一覧」>「一覧／更新」>「メニュー定義・作成」ボタンを押下、もしくは「メニュー定義・作成」で新規メニューを作成した直後に表示されます。
- 各ボタンの詳細については次ページ以降を参照してください。

閲覧画面

The screenshot shows the 'View' (閲覧) screen of the menu definition application. It displays three menu items (項目 1, 項目 2, 項目 3) with their details. Below the grid is a preview window titled '一覧(プレビュー)' showing a list of items with columns like 'ホスト名', 'オペレーション名', '基準日時', etc. At the bottom are four buttons: '編集' (Edit), '初期化' (Reset), '流用新規' (Reuse New), and 'メニュー作成履歴' (Menu Creation History).

「メニュー定義一覧」>「一覧／更新」>
「メニュー定義・作成」ボタンからこの画面に遷移した場合、④は表示されません。

① 「編集」ボタン (詳細は『3.6.1』へ)

- メニュー定義を編集します。
- 編集前のメニューで登録したデータは**保持**されます。

② 「初期化」ボタン (詳細は『3.6.2』へ)

- メニュー定義を編集します。
- 編集前のメニューで登録したデータは**削除**されます。

③ 「流用新規」ボタン (詳細は『3.6.3』へ)

- メニューを**複製**して、新規メニューを作成します。

④ 「メニュー作成履歴」ボタン (詳細は『3.6.4』へ)

- 「メニュー作成履歴」メニューへ遷移します。

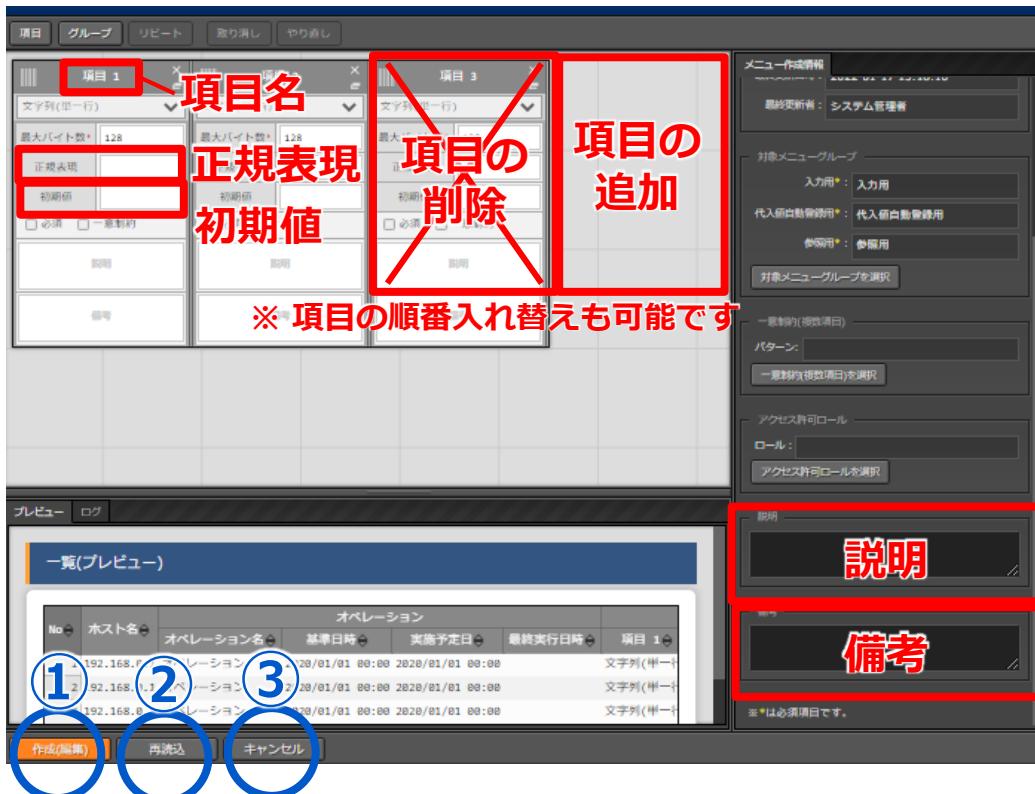
3.6.1 既存メニューの編集：編集

- 「編集」ボタンを押下すると、編集画面に遷移します。
- メニューの定義を編集します。編集可能な箇所は下図の通りです。
- 編集前のメニューで**登録したデータは保持**されます。

※ 詳細は[Exastro-ITA 利用手順マニュアル メニュー作成機能](#)『5.4 メニュー作成受付後の「メニュー定義・作成」メニューの使い方』参照

編集画面

赤色は編集できる箇所を示しています。



① 「作成（編集）」ボタン

- 編集した内容でメニューを再作成します。

② 「再読み込」ボタン

- 編集した内容を破棄して、編集画面の初期状態に戻ります。

③ 「キャンセル」ボタン

- 編集した内容を破棄して、閲覧画面に戻ります。

3.6.2 既存メニューの編集：初期化

- 「初期化」ボタンを押下すると、初期化画面に遷移します。
- メニューの定義を編集します。メニュー名以外は編集可能です。
- 編集前のメニューで**登録したデータは削除**されます。

※ 詳細は[Exastro-ITA 利用手順マニュアル メニュー作成機能 『5.4 メニュー作成受付後の「メニュー定義・作成」メニューの使い方』](#)参照

初期化画面

赤色は編集できる箇所を示しています。

メニュー名以外は
編集可



① 「作成（編集）」ボタン

- 編集した内容でメニューを再作成します。

② 「再読込」ボタン

- 編集した内容を破棄して、初期化画面の初期状態に戻ります。

③ 「キャンセル」ボタン

- 編集した内容を破棄して、閲覧画面に戻ります。

3.6.3 既存メニューの編集：流用新規

- 「流用新規」ボタンを押下すると、流用新規画面に遷移します。
- 閲覧画面で表示されていたメニュー定義を流用して、新規メニューが作成されます。
- 「メニュー名」「表示順序」が空欄になっているので、新たに入力します。「メニュー名」は既存のメニューと重複しない名称にします。

流用新規画面

赤色は入力必須の箇所を示しています。

すべて編集可

メニュー名

表示順序

流用

No.	ホスト名	オペレーション	パラメータ	備考	最終更新日時
1	192.168.0.1	オペレーション	文字列(單一行)	2020/01/01 00:00	2020/01/01 00:00
2	192.168.0.1	オペレーション	文字列(單一行)	2020/01/01 00:00	2020/01/01 00:00
3	192.168.0.1	オペレーション	文字列(單一行)	2020/01/01 00:00	2020/01/01 00:00

複製して「メニュー名」「表示順序」のみ空欄の
状態で新規メニューが作成されます。
すべての欄が編集可能です。



3.6.4 既存メニューの編集：メニュー作成履歴

- 「メニュー作成履歴」ボタンを押下すると、「メニュー作成履歴」メニューに遷移します。
- 作成したメニューのみソートされた状態で、「一覧」が表示されます。

「メニュー作成履歴」メニュー

説明

△開く

表示フィルタ

△閉じる

廃止 項番 メニュー名 ステータス メニュー資材 メニュー作成タイプ 最終更新日時 最終更新者

廃止含まず 28 ~ 28 ▼ ブルダウソ 検索 ▼ ブルダウソ 検索 ▼ ブルダウソ 検索 ▼ ブルダウソ 検索

△閉じる

メニュー作成履歴

フィルタ フィルタクリア

オートフィルタ

一覧

△閉じる

履歴	項目	メニュー名	ステータス	メニュー資材	メニュー作成タイプ	作成したメニュー	アクセス権	備考	最終更新日時	最終更新者
72	sample_03	完了	0000000151.zip	新規作成	作成したメニュー		アクセス許可ロール		2021/08/19 17:51:41	メニュー作成履歴

フィルタ結果件数: 1

Excel出力

作成したメニューのみ表示される

3.7 ホストグループ利用とメニューグループ

メニュー作成情報

基本情報 :

項目番号 : 自動入力

メニュー名* : [Redacted]

作成対象 : パラメータシート(ホスト/オペレーション)

表示順序* : [Redacted]

ホストグループ利用 : 利用する

縦メニュー利用 ? : 利用する

最終更新日時 : 自動入力

最終更新者 : 自動入力

対象メニューグループ

入力用* : 入力用

代入値自動登録用* : 代入値自動登録用

参照用* : 参照用

対象メニューグループを選択

一意制約(複数項目)

パターン: [Redacted]

一意制約(複数項目)を選択

● ホストグループ利用

ホストグループに対してパラメータシートを適用する場合、チェックボックスにチェックを入れます。

(詳細は本書 [『3.10 ホストグループ利用』](#) 参照)

● 対象メニューグループ

このメニューが所属するメニューグループを選択します。
デフォルトでは下表のメニューグループが選択されています。

(「入力用」「代入値自動登録用」「参照用」メニューグループについては
本書 [『3.8 パラメータシートのメニューグループ』](#) 参照)

シートの種類	ホストグループ 利用	メニューグループ		
		入力用	代入値 自動登録用	参照用
パラメータシート	×	○	○	○
データシート	○	○	○	○
		○	×	×

※ 上記のパラメータシートでは「縦メニュー利用」は使用しないものとしています（「縦メニュー利用」については [『Exastro-ITA 利用手順マニュアル メニュー作成機能』](#) 参照）。

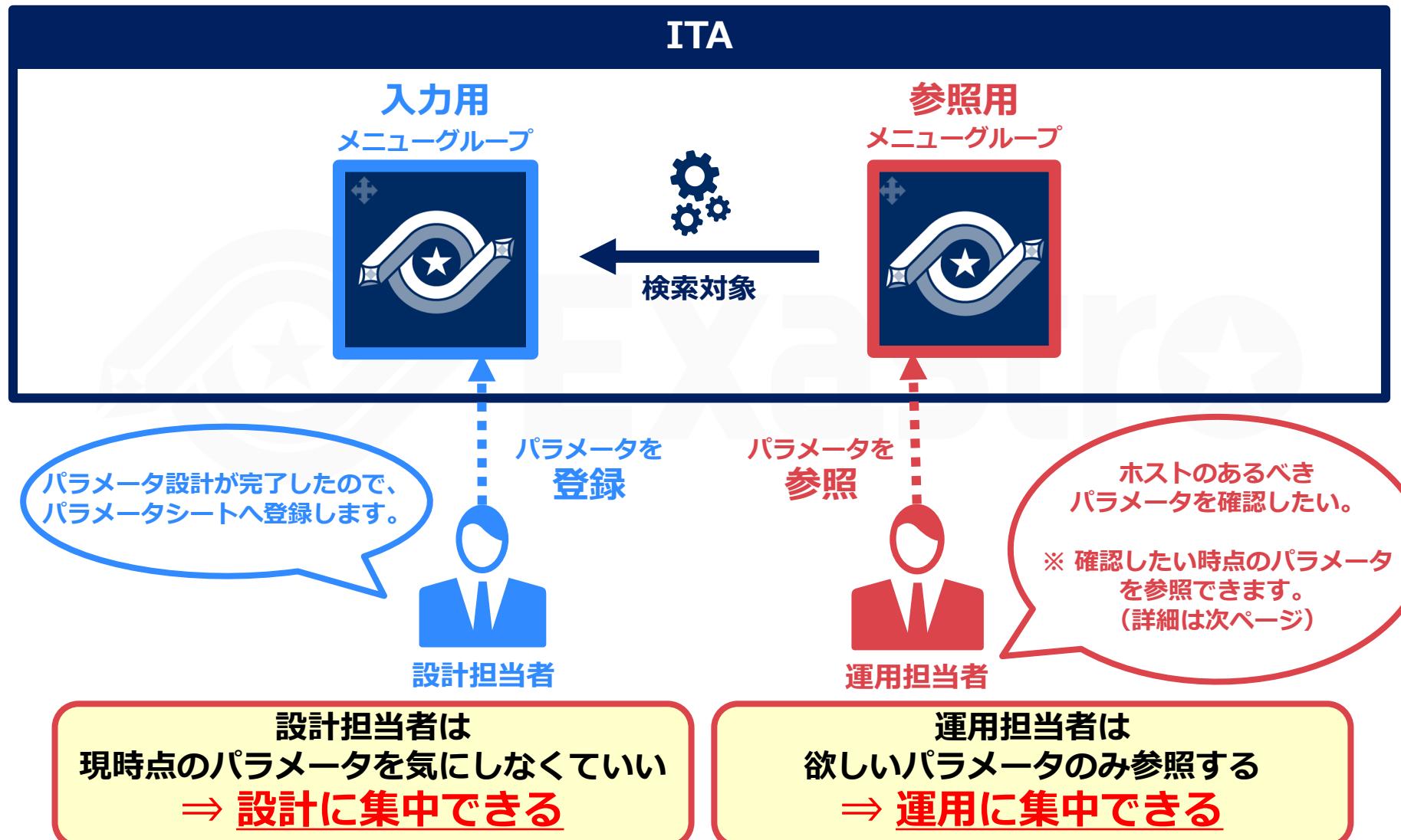
3.8 パラメータシートのメニューグループ

- 「入力用」「代入値自動登録用」「参照用」メニュー群の違いは以下のようになります。
- 自分でメニュー群を作成することも可能です（[『Exastro-ITA 利用手順マニュアル 管理コンソール』参考](#)）。



3.9 「入力用」「参照用」メニューグループの活用

- 「入力用」「参照用」メニューグループは、以下のように活用できます。



3.9.1 「参照用」メニュー グループ (1/2)

「参照用」メニュー グループでは、「ホスト名」・「基準日時」をキーとして**任意の時点のパラメータを検索できます。**

- 基準日時を指定せずに検索すると、最新の基準日のデータが表示されます。



3.9.1 「参照用」メニュー グループ (2/2)

● 基準日時

⇒ 該当のオペレーションが過去に一度でも実行されたことがあれば「最終実行日時」、一度も実行されたことがなければ「実施予定日時」が「基準日時」となります。

基準日時の設定例

No	対象ホスト	オペレーション名	実施予定日時	最終実行日時	基準日時
1	ホストA	オペレーション1	9/1 00:00:00	9/15 00:00:00	9/15 00:00:00
2	ホストA	オペレーション2	11/1 00:00:00		11/1 00:00:00
3	ホストA	オペレーション3	12/24 00:00:00		12/24 00:00:00

※No2、No3のオペレーションは未実行

3.9.2 「参照用」メニューグループの利用例 (1/5)

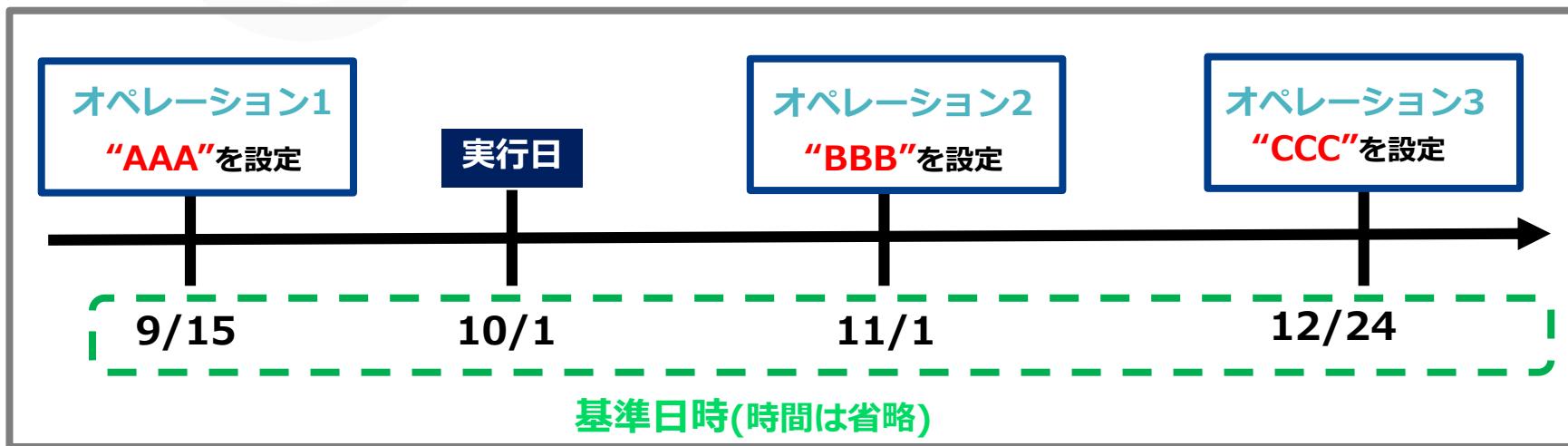
前提条件

10/1(実行日)にケース①～ケース④(後ページ記載)を実行します。

パラメータシート

ホスト	オペレーション	オペレーション基準日時	パラメータA	...
ホストA	オペレーション1	9/15 00:00:00	AAA	...
ホストA	オペレーション2	11/1 00:00:00	BBB	...
ホストA	オペレーション3	12/24 00:00:00	CCC	...

【ホストAの作業スケジュール】

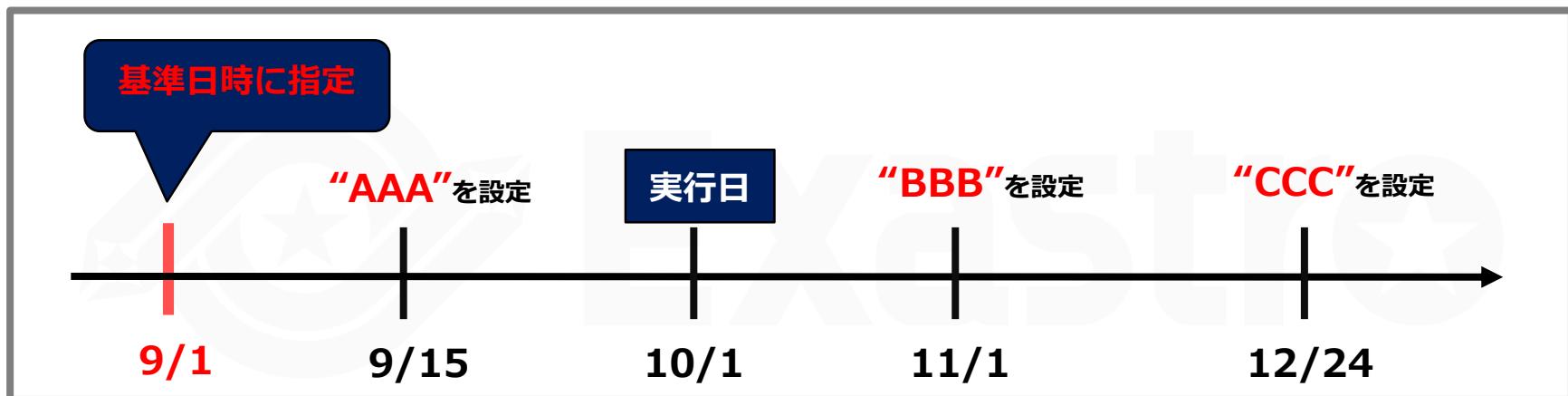


3.9.2 「参照用」メニューグループの利用例 (2/5)

ケース①

基準日時に「9/1 00:00:00」を指定して検索を実行

【ホストAの作業スケジュールと基準日時】



ホスト	オペレーション	オペレーション基準日時	パラメータA	...
ホストA	オペレーション1	9/15 00:00:00	AAA	...
ホストA	オペレーション2	11/1 00:00:00	BBB	...
ホストA	オペレーション3	12/24 00:00:00	CCC	...

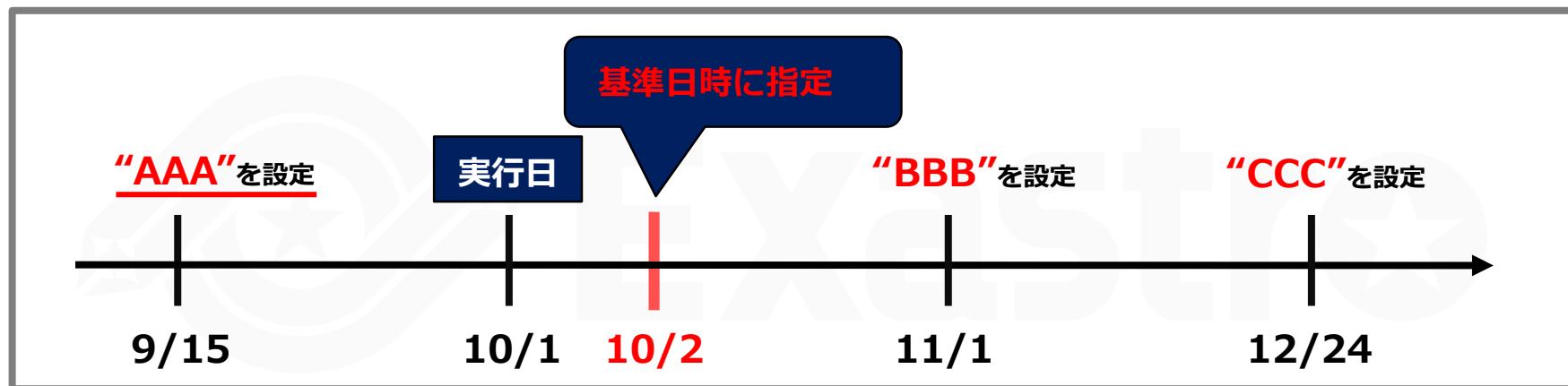
- 9/1の時点ではパラメータは設定されていないため、該当する検索結果はありません。

3.9.2 「参照用」メニュー グループの利用例 (3/5)

ケース②

基準日時に「**10/2 00:00:00**」を指定して検索を実行

【ホストAの作業スケジュールと基準日時】



ホスト	オペレーション	オペレーション基準日時	パラメータA	⋮
ホストA	オペレーション1	9/15 00:00:00	AAA	⋮
ホストA	オペレーション2	11/1 00:00:00	BBB	⋮
ホストA	オペレーション3	12/24 00:00:00	CCC	⋮

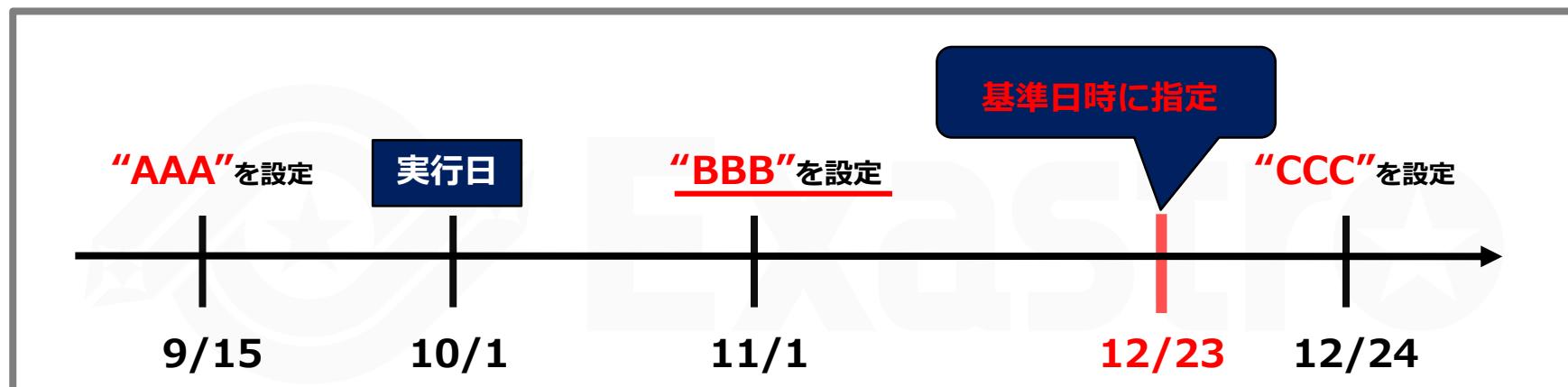
- 10/2の時点では“パラメータA”には“AAA”が設定されているため、“AAA”が検索結果として表示されます。

3.9.2 「参照用」メニュー グループの利用例 (4/5)

ケース③

基準日時に「**12/23 00:00:00**」を指定して検索を実行

【ホストAの作業スケジュールと検索日時】



ホスト	オペレーション	オペレーション基準日時	パラメータA	...
ホストA	オペレーション1	9/15 00:00:00	AAA	...
ホストA	オペレーション2	11/1 00:00:00	BBB	...
ホストA	オペレーション3	12/24 00:00:00	CCC	...

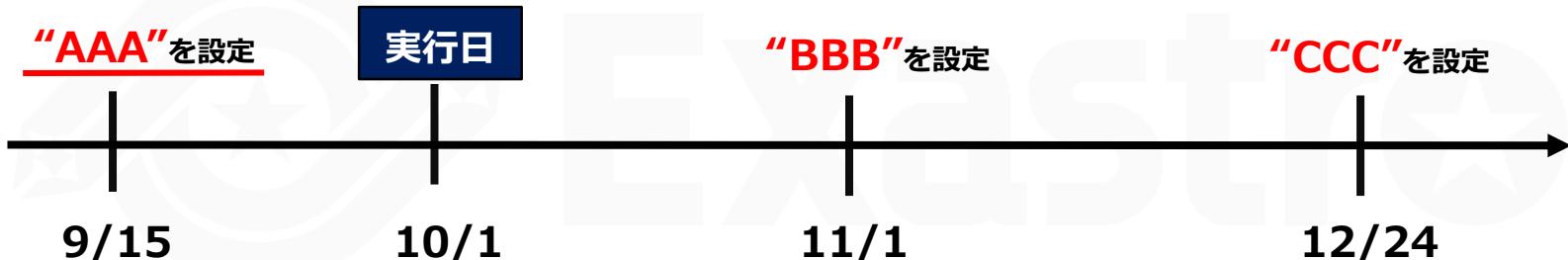
- **12/23の時点では“パラメータA”には“BBB”が設定されているため、“BBB”が検索結果として表示されます。**

3.9.2 「参照用」メニューグループの利用例 (5/5)

ケース③

基準日時が空白の状態で検索検索を実行

【ホストAの作業スケジュールと検索日時】

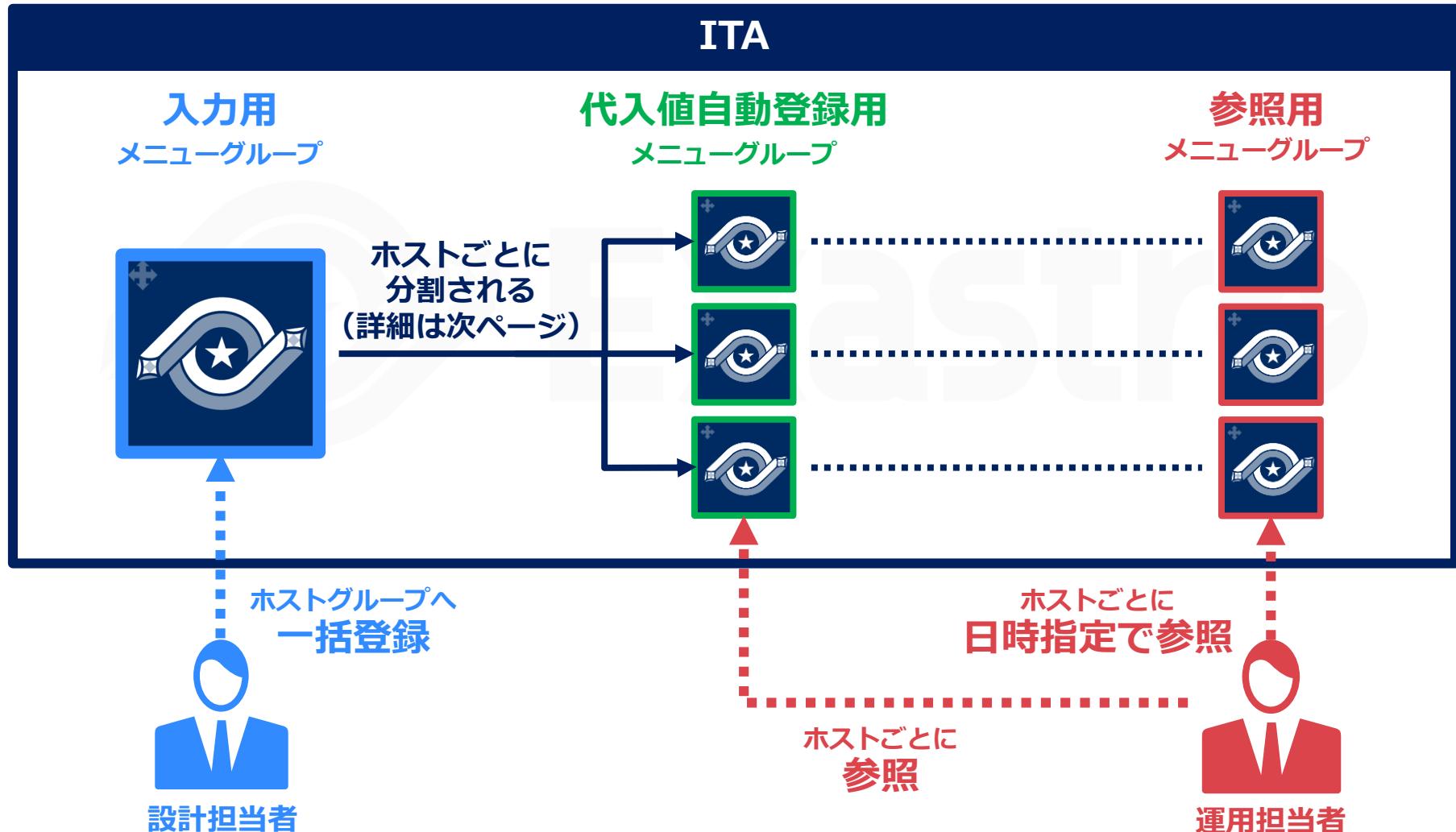


ホスト	オペレーション	オペレーション基準日時	パラメータA	...
ホストA	オペレーション1	9/15 00:00:00	AAA	...
ホストA	オペレーション2	11/1 00:00:00	BBB	...
ホストA	オペレーション3	12/24 00:00:00	CCC	...

- 基準日時が空白の状態で検索すると、検索を実行した日時から見て最新の値が検索結果として表示されます。よって“AAA”が検索結果として表示されます。

3.10 ホストグループ利用

- 「ホストグループ利用」にチェックを入れた場合は、作成されたメニューにおいてホストグループを登録対象として選択できるようになります。
- 「代入値自動登録用」「参照用」メニューグループとの関係は下図のようになります。



3.10.1 ホストグループ利用した場合のパラメータシートの分割

- ホストグループに対して適用したパラメータはそのグループに所属するホストすべてに適用されますが、「代入値自動登録用」メニュー／グループにおいては自動的にホストグループが分割され、個別のホストごとに値を確認することができます。

ホストグループ利用した場合のパラメータシートの分割

ホストグループに対して適用したパラメータシート

ホストグループ名	オペレーション	パラメータ1	パラメータ2	パラメータ3
DBサーバ群	オペレーションA	AAA	CCC	EEE
WEBサーバ群	オペレーションA	BBB	DDD	FFF

分割

ホストグループ「DBサーバ群」には「ホストA」, 「ホストB」
ホストグループ「WEBサーバ群」には「ホストC」, 「ホストD」が所属

分割後のパラメータシート

ホスト名	オペレーション	パラメータ1	パラメータ2	パラメータ3
ホストA	オペレーションA	AAA	CCC	EEE
ホストB	オペレーションA	AAA	CCC	EEE
ホストC	オペレーションA	BBB	DDD	FFF
ホストD	オペレーションA	BBB	DDD	FFF

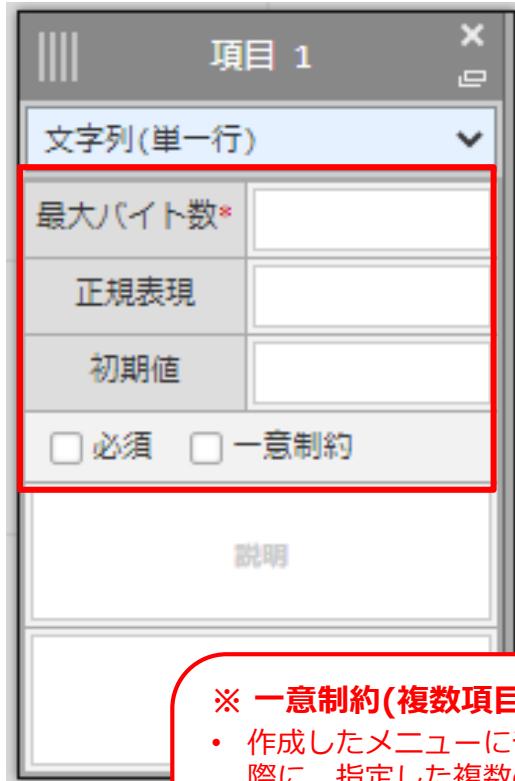
登録



代入値自動登録用
メニュー／グループ

3.11 項目の登録

パラメータシート・データシートの項目作成では、以下の機能が利用できます。



項目	説明
最大バイト数	<ul style="list-style-type: none">最大バイト数(8192バイト)を入力することができます。
正規表現	<ul style="list-style-type: none">文字列の正規表現を指定して、入力する文字列パターンを制限することができます。
初期値	<ul style="list-style-type: none">初期値を指定した場合、作成後のメニューで登録する際にあらかじめ入力欄に入力された状態となります。
必須	<ul style="list-style-type: none">チェックを入れた場合、この項目を入力必須とします。
一意制約	<ul style="list-style-type: none">チェックを入れた場合、入力した文字列がこの項目において一意となります。複数項目での一意制約（※）を指定することも可能です。

※ 一意制約(複数項目)

- 作成したメニューにデータを登録する際に、指定した複数の項目で同じレコードの組み合わせが登録できないように制御する機能です。
- 詳細は[利用手順マニュアル メニュー作成機能の『5.2 \(B\) 「メニュー作成情報」タブ』](#)参照。

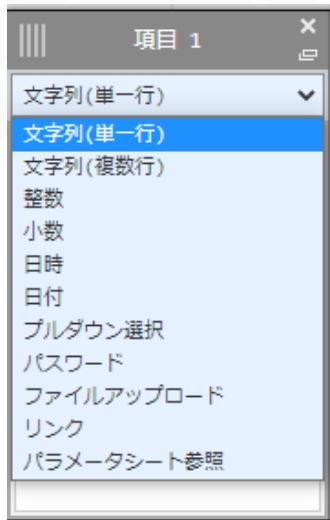
※ 詳細は[「Exastro-ITA 利用手順マニュアル メニュー作成機能」](#)を参照

3.11.1 入力方式：文字列

「文字列（單一行/複数行）」を選択した場合、値の入力欄に文字列が登録できるようになります。

メニュー作成時に入力方式を選択

「文字列（單一行/複数行）」を選択します。



作成されたメニュー

文字列を登録できます。

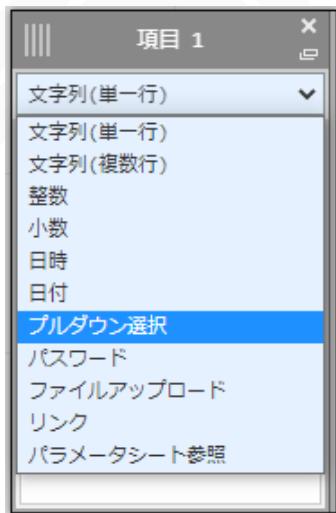
A screenshot of a menu item labeled 'item*'. Below it is an input field containing the text 'apple'. The input field is highlighted with a red border, indicating it is the active or selected field.

3.11.2 入力方式：プルダウン選択 (1/5)

「プルダウン選択」を選択した場合、値の入力欄にプルダウンが表示され、他のメニュー（参照元メニュー）に登録された値を参照できます。

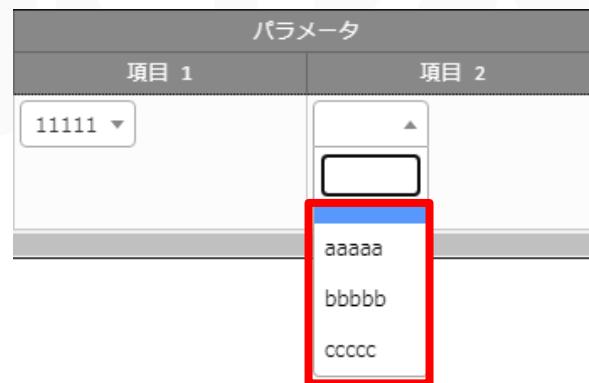
メニュー作成時に入力方式を選択

「プルダウン選択」を選択します。



作成されたメニュー

プルダウンが表示され、参照元メニューに登録された値を参照できます。



プルダウン選択を使用することで、
作業シートへの入力ミスや表記ブレの防止になります。

3.11.2 入力方式：プルダウン選択 (2/5)

参照元メニューと参照先メニュー

- 「プルダウン選択」では、参照元メニューに登録されたデータを参照先メニューが参照してプルダウン表示します。
- 参照元メニューと対象項目は、参照先メニューの対象項目を作成する際「選択項目」欄で指定します。

(例)

参照元メニュー

参照元メニューの項目
<item>に登録され
た値が、

履歴	複製	更新	廃止	No	item	color	category
履歴	複製	更新	廃止	1	apple	red	fruit
履歴	複製	更新	廃止	2	banana	yellow	fruit
履歴	複製	更新	廃止	3	tomato	red	vegetable

参照先メニュー

参照先メニューの項目
<商品名>にプルダウ
ンで表示されます。

商品名	個数	入荷日
apple		
banana		
tomato		

選択項目

項目 <商品名> の「選択項目」欄で
項目 <item> を指定します。



3.11.2 入力方式：プルダウン選択 (3/5)

「選択項目」欄について

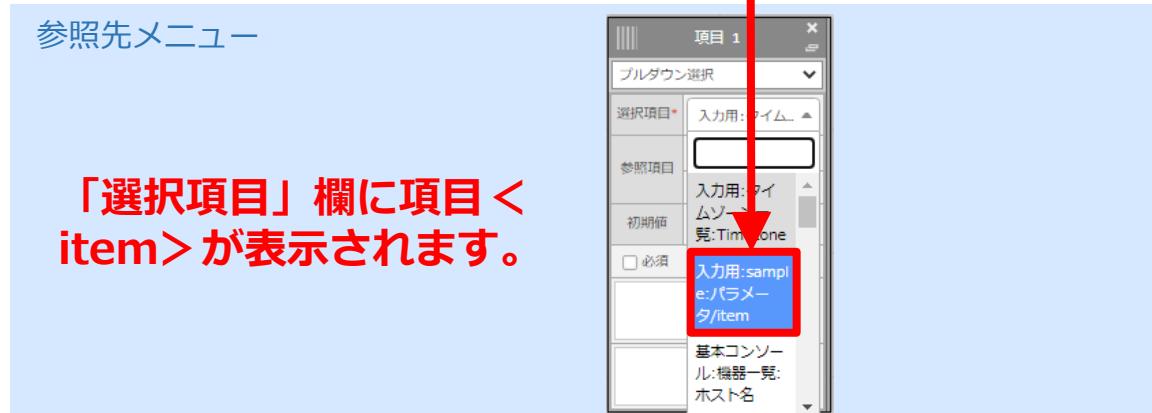
- 「選択項目」欄には、デフォルトで機器一覧のホスト名やTrue-False、Yes-Noなど(※)が表示されますが、自分で作成したメニューと項目も追加することもできます。
- 自分で作成したメニューと項目を「選択項目」に追加する場合、参照元メニューの対象項目作成の際「必須」「一意制約」を選択しておく必要があります(下図参照)。

※ その他は [Exastro-ITA 利用手順マニュアル メニュー作成機能](#)『8.7 「プルダウン選択」の「選択項目」で利用できる対象について』参照

(例)



入力方式は「文字列(單一行)」「文字列(複数行)」「整数」「小数」「日時」「日付」「リンク」に限られます。



3.11.2 入力方式：プルダウン選択 (4/5)

「参照項目」欄について

- 同じメニューの複数の項目をセットにして、プルダウン参照元とすることができます。1項目を「選択項目」とし、他項目を「参照項目」と設定します。「選択項目」がプルダウン選択肢となり、「選択項目」の値を選択すると、対応する「参照項目」の値も自動で表示されます。
- 「選択項目」欄でデフォルトを選択した場合は、「参照項目」欄でもデフォルトが表示されます（※）。

※ [Exastro-ITA 利用手順マニュアル メニュー作成機能 『8.6 「プルダウン選択」利用時の「参照項目」について』](#) 参照

(例)

参照元メニュー

「参照項目」で選択された項目が、

履歴	複製	更新	廃止	No	item	color	category
履歴	複製	更新	廃止	1	apple	red	fruit

参照先メニュー

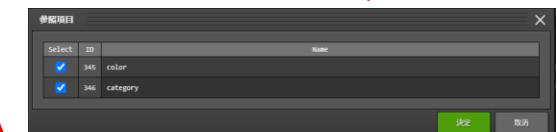
参照先メニューの
「一覧/更新」で表
示されます。

履歴	複製	更新	廃止	No	商品名	color	category	個数	入荷日
履歴	複製	更新	廃止	1	apple	red	fruit	100	2021/08/20

参照項目

「参照項目を選択」ボタンを押下すると、

別ウィンドウが表
示され、「選択項
目」で選択した項
目以外の項目が選
択できます。



3.11.2 入力方式：プルダウン選択 (5/5)

「プルダウン選択」の活用

「プルダウン選択」を用いることで、以下のようなデータ管理を運用することができます。

- ① 参照元メニューをデータシート、参照先メニューをパラメータシートとすることにより、データベースとして扱う固定的なレコードと、必要に応じて作成する流動的なレコードとを分ける。
- ② ひとつの参照先メニューに対して複数の参照元メニューを紐づけ、必要なデータのみ集約する。
- ③ ひとつの参照元メニューから複数の項目を紐付けるとき、「参照項目」を利用して入力の手間を省く。

(例) パラメータシートXから、データシートA・Bの一部の項目を「プルダウン選択」で参照する。

パラメータシートXの項目 <color> <category> は、「参照項目」を利用してデータシートAの項目を表示する。

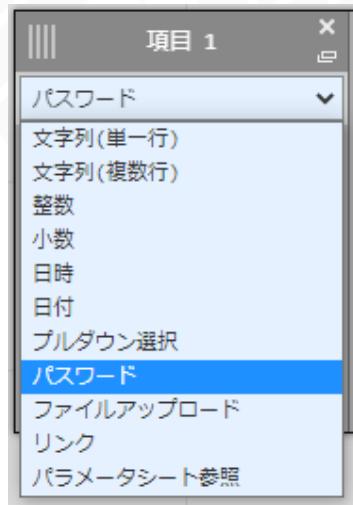


3.11.3 入力方式：パスワード

「パスワード」を選択した場合、入力中の文字列が「●」で隠された状態のテキストボックスの項目になります。（枠内の瞳のアイコンを押下している間のみ、入力した文字列が表示されます。）

メニュー作成時に入力方式を選択

「パスワード」を選択します。



作成されたメニュー

文字列が「●」で隠されたテキストボックスになります。登録後は「*****」と表示され参照不可となります。



瞳のアイコンを押下している間は、文字列が表示されます。

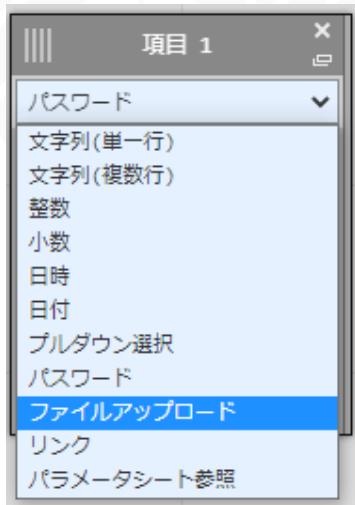


3.11.4 入力方式：ファイルアップロード

「ファイルアップロード」を選択した場合、ファイルを参照し選択できるボタンと「事前アップロード」ボタンのある項目になり、ファイルをアップロードすることが可能になります。

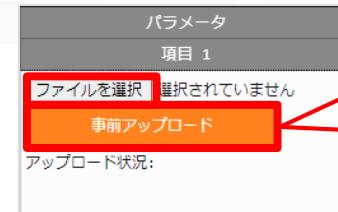
メニュー作成時に入力方式を選択

「ファイルアップロード」を選択します。



作成されたメニュー

任意のファイルがアップロードできます。登録したレコードからは、アップロードしたファイルがダウンロードできます。



「事前アップロード」を押下してから登録ボタンを押下します。

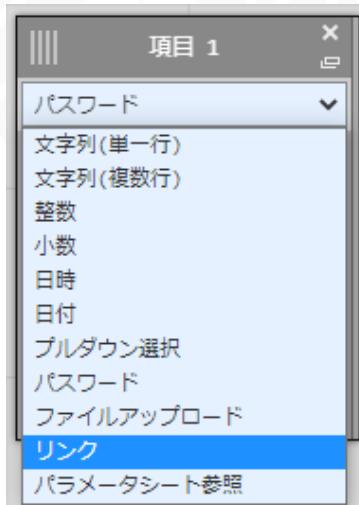


3.11.5 入力方式：リンク

「リンク」を選択した場合、入力したURLがリンク表示になるテキストボックスの項目になります。

メニュー作成時に入力方式を選択

「リンク」を選択します。



作成されたメニュー

URLを入力して登録し、一覧から登録したレコードを確認すると、URLがリンク表示になります。

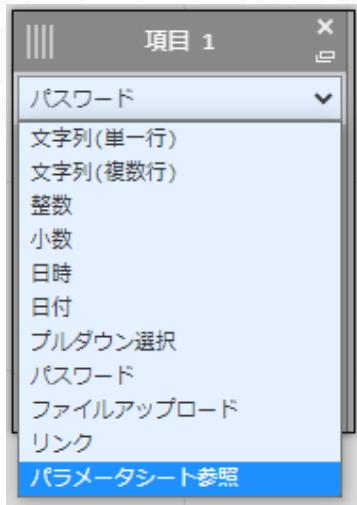


3.11.6 入力方式：パラメータシート参照

作成対象「パラメータシート(オペレーションあり)」で作成したメニュー項目を選択し、データを登録した際にオペレーションと一致する項目のレコードが参照されます。

メニュー作成時に入力方式を選択

「パラメータシート参照」を選択します。



作成されたメニュー

データを登録すると、「パラメータシート参照」で指定したメニュー項目から、オペレーションが一致するレコードの値が参照されます。

No	ホスト名	オペレーション	アクセス権
自動入力	dbA	2021/12/16 12:35_21:OP1	設定 アクセス許可ルール

ホスト名	ID	オペレーション名	基準日時	実施予定日時	最終実行日時	参照 1	参照 2
dbA	21	OP1	2022/01/18 09:36	2021/12/16 12:35	2022/01/18 09:36	あああ	いいい



Exastro